

6月30日発表；梶原さんの発表後の話し合い

- ・あなたの職場にはありましたか？—あるけど、利用している人は少ないのでは？
一般図書は利用されるが医療図書の利用は少ない
- ・患者は自分の病気についての本はあまり見たくないのでは・・・？家族は情報をほしい
と思っているひとは多いと思うけれども・・・。
- ・図書室のスペースをどういう目的で使うのか？
- ・病院の図書館に行くという習慣が日本にはないから考えないと・・・
- ・米国のメイヨーは病院前に大きな図書館があり、それは、患者自身に自分で疾患等について勉強してもらうため。患者に自己で学習してもらう。患者教育目的もある。
しかし、本来の図書室の意図と違うのではないかという話もある。
- ・電子化が進めば、Iパットなどで医学書籍も読めるようになど、なれば理想的。
- ・患者図書館に関する研究はもっと進めていく必要がある。
- ・看護学生用や医学生用の雑誌や本の中には、患者が見やすく、理解しやすく表現されたものも多く、患者のなかには、立ち読みなどでそれらから情報を得ている人もいる。